

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和5年4月21日現在

江戸川区立 松江小学校

令和8年度までの目標	国 語		算 数	
	自校 AB 層の割合	21%→40%	自校 AB 層の割合	30%→45%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> 各単元において、見通しをもった単元計画を立てる。 1単元毎に見方・考え方を働かせる場面を作り、児童の「わかった!」「できた!」の声上がるようにする。 対話的な学びを中心にした学習を進める。 児童が主体的に学べる学習計画や、学習の手立てを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリル診断テストを年3回実施し、学習の定着状況を把握する。 12月にベネッセの学力テストを行う。 朝の時間や授業中など、ドリルパークに取り組み時間を確保する。 完全習得に向けた年間指導計画を作成し、学習の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 年3回の家庭学習キャンペーンで家庭における学習習慣を整える。 松江学習スタンダードや学習用具スタンダードを活用し、学習環境を整える。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> 全員が自信をもって答えられる問題を授業中に数問行い、自己肯定感を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ドリルパークで苦手分野の復習を行う。 放課後補習事業者とも連携し、基礎学力の向上を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭への協力を仰ぎながら、ドリルパークを活用し、毎日シールを溜める取り組みを行う。
成果指標	<p>○東京都学力向上を図るための調査「授業では、他の人と考えを交流しながら課題を解決する活動を行っていると思う。」肯定的な回答の割合全学年80%以上</p> <p>現時点</p> <p>4年 75.0% 5年 73.8% 6年 65.1%</p>	<p>○東京ベーシックドリルの診断テスト8割達成の児童の割合60%以上</p> <p>現時点</p> <p>2年 41.0% 3年 32.1% 4年 49.6% 5年 25.8% 6年 20.0%</p>	<p>○全国学力調査質問紙用紙「一日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」1時間以上の児童の割合70%以上</p> <p>現時点</p> <p>59.5%</p>